

# 友愛會綱領

- 一、我等ハ公共ノ理想ニ從ヒ識見ノ開發德性ノ涵養技術ノ進歩ヲ圖ラン事ヲ期ス
- 二、我等ハ共同ノ力ニ依リ着實ナル方法ヲ以テ我等ノ地位ノ改善ヲ圖ラン事ヲ期ス
- 三、我等ハ互ニ親睦シ一致協力シテ相愛扶助ノ目的ヲ貫徹セシ事ヲ期ス

## 友愛會宣言

人間はその本然に於て自由である、故に我等労働者は如斯宣言す、労働者は人格である、彼はたゞ資金相場によつて賣買せしむる可きものではない、彼はまた組合の自由を獲得せねばならぬ、資本が集中せられて、労働力を掠奪し凡ての人間性を物質化せんとする時に労働者はその團結力を以て社會秩序の支持はたゞ黄金にあるのでは無くそは全く生産者の人間性に待つ者であることを資本家に教へねばならぬ、特に機械文化が謬れる方面に我等を導き去つて以來資本主義の害毒は世界を浸潤し生産過剰と恐慌は交に至る、生産者は其の工場より追はれ然らざるも彼一個の機械の附屬品としてその生理的補給を繋ぎ得る程度の貢獻に甘んせねばならぬこととなつた、故に我等生産者は如斯宣言す我等は決して機械で無いと我等は個性の發達と社會の人格化の爲めに生産者が完全に教育を受け得る社會組織と生活の安定と自己の境遇に對する支配権を要求す、願ひて我日本の産業界を見るに女工は紡績會社に生めき幼年工は勤勞の長きに疲れ、地の底より女坑夫の叫び立ち昇る鳴呼今は解放の時である、又労働者の死亡率は増加しその生活の不安の爲めに嬰兒の死亡と死産流產は著しく増加し労働者の顔に死の蔭のさゝの時が無い物價は騰貴し罷工は相繼ぎ組合の自由は認められず、労働者は全く不自由民としての權利を否定せられて居る、今は日本の生産者の嘆きの時である。

## 東京洋服技工組合宣言

世界は生れ變るそして日本をのみ殘して前へ前へと進む、故に我等日本の生産者は世界に向つて

如斯宣言す日本の労働者も國際聯盟との労働規約の精神に生き地球が凡て平和と自由と平等の支配する所で有る爲めには我等も殉教的奮闘を辭するものではないと、

## 東京洋服技工組合宣言

吾々洋服職は忙しい時は人間として恥しい程長い時間働くがせられ閑な時は殆んど生命を繋ぎ得る程度の貢獻に甘んせねばならない、かくの如く繁閑二重の壓迫を資本家から受けて居るのであります、社會は生れ變る種々なる職工は組合を作つて自分の利益を保護する、そして吾々洋服職工を殘して前へ前へと進む吾等は最早一刻も猶豫して居られません。

世界で一番早く職工組合を作りて自分の利益を守つたのはロンドンに於ける洋服裁縫の組合だぞ

と一として我國労働組合の最大權威たる友愛會の起りも鐵道院被服工場職工を中心とする本組合の前身鐵南第一支部でありました。

歐州大戰に依つて労働者の力が社會で一番大なる事が認められてから全世界の労働者は非常な勢

を以て自覺し組合を作り團結の力を以て自分の境遇の改善を計つて居ます然るに吾々洋服職工は永年の犠牲を拂つて貴重なる技術者であり乍ら日々の生活狀態は如何でありますか。

之れ資本家は組合を作り商業會議所の様な機關を以て自分の利益を守るに反して吾々には組合がない、團結の力がないからであります。

我東京洋服技工組合は之等の問題を解決し吾等同職諸君の幸福と自覺の爲めに奮い起ちました親愛なる洋服工諸君よ我等の此の意を贊助せられ奮つて御入會あられやがては洋服裁縫の産業權を

吾が洋服技工組合の手に依つて管理するの方針で進みたいと思ひます。

## 東京洋服技工組合本部 友愛岩支部

東京市芝區明舟町十九番地(美登實方)

一切取締

御入會希望者は左の中込書に入會金及壹ヶ月分を前納せられ組合本部に御申込被下度候

姓名  
生年月日  
現住所  
本籍地

年月日  
年月日  
年月日

紹介者氏名

貴會の主義綱領及規則承知の上入會金相添へ  
大正年月日  
右入會者  
右紹介者

得をとこる會入共くな者介紹

## 入會申込書

No.

友愛會東京洋服技工組合御中